

スタートアップ・エコシステム形成支援 採択プラットフォーム紹介



プラットフォーム名: (令和5年7月時点)
Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem

令和4年度開始～令和8年度終了予定

参画機関

主幹機関:九州大学、九州工業大学 共同機関:FFGベンチャービジネスパートナーズ、長崎大学、北九州市立大学、佐賀大学、熊本大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学、琉球大学、九州産業大学、久留米大学、第一薬科大学、福岡大学、福岡工業大学、山口大学、立命館アジア太平洋大学、沖縄科学技術大学院大学 幹事自治体:福岡市、北九州市
協力機関:早稲田大学、国立台湾科技大学、マレーシアアトラ大学、国立交通大学産業加速器専科開発戦略中心、インド工科大学ボンベイ校、九州・大学発ベンチャー振興会議、九州経済連合会、九州オープンイノベーションセンター、北九州産業学術推進機構、ふくおかフィナンシャルグループ企業育成財団、福岡地域戦略推進協議会、福岡スタートアップ・コンソーシアム、福岡県、長崎県、大分県、宮崎県、飯塚市、久留米市、QBキャピタル、ユニバーサルマテリアルズインキュベーター、epiST Ventures、環境エネルギー投資、DCIパートナーズ、ドーガン・ベータ、GxPartners、Fベンチャーズ、NCBベンチャーキャピタル、佐銀キャピタル&コンサルティング、肥銀キャピタル、大分ベンチャーキャピタル、宮銀ベンチャーキャピタル、Origin Ventures Pte Ltd、福岡銀行、十八親和銀行、熊本銀行、西日本シティ銀行、佐賀銀行、肥後銀行、大分銀行、宮崎銀行、鹿児島銀行、琉球銀行、沖縄銀行、Startup GoGo

目指すスタートアップ・エコシステム 「オール九州・沖縄でアジアとつながるスタートアップ・エコシステムの創出」

九州・沖縄という地域にあるべき、かつ顧客志向で業界改変を実現可能なベンチャーを持続的に創出していくために、拠点都市である福岡市、北九州市をモデル都市に、また九州・大学発ベンチャー振興会議との密な連携のもと、アントレプレナーシップ教育から起業支援までを一気通貫で実施していく。令和8年度末には、独自のVCやPoCファンドの運用を行うPARKSインターユニバーシティ設立を目指す。

(1) 起業活動支援プログラムの運営

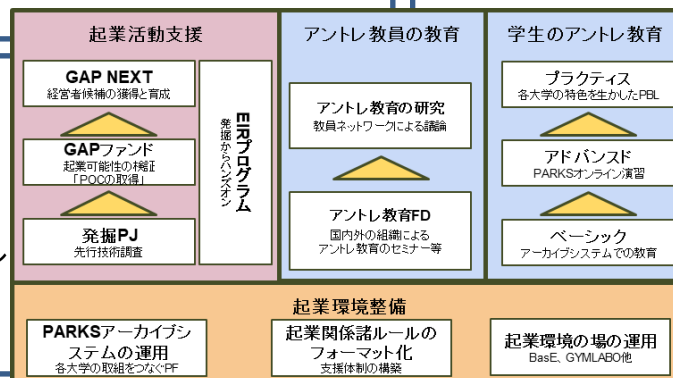
- ・令和8年度末までに155社の起業を目指す。
- ・GAPファンド、GAP NEXTの2つのステップで起業活動支援プログラムの提供を行う。研究開発課題は、それぞれGAPファンド10件以上、GAP NEXT2件以上を予定している。
- ・起業活動支援プログラムを提供するシーズの選考はVC関係者等外部委員で組織された審査委員会を実施する。
- ・各大学のURAやCXO人材候補等の配置によるハンズオン支援を実施する。
- ・終了後は、Demodayや拠点都市の施策へのシームレスな接続を実施し、PARKSからの持続的なスタートアップ創出を実現する。

(2) アントレプレナーシップ人材育成プログラムの開発・運営等

- ①アントレプレナーシップ教員の教育として、
 - ・先進的な国内・国外の組織と連携してFDを実施する。
 - ・PARKSアントレ教員ネットワークを構築しFDの内容を踏まえたアントレ教育の研究を行い、参加大学においてアントレ教育を実施する教員を育成する。
 - ②学生のアントレプレナーシップ教育として、
 - ・アーカイブシステムを利用した、動機付け・意識醸成を行う教育を実施する。
 - ・オンライン演習を実施し、コンピテンシーの形成を目的として教育を実施する。
 - ・各大学の特色を活かしたPBL等を実施し、社会実装につなげる。
- ・令和8年度末には12,000人/年の受講者数を目指す。

(3) 起業環境の整備

プラットフォーム内で①各大学の取組をつなぐPARKSアーカイブシステムの運用、②起業環境諸ルールのフォーマット化、③各拠点の起業環境をICTツールによるネットワーク化によりオール九州・沖縄一体でスタートアップ・エコシステムを創出するための環境を整備する。



(4) 拠点都市のエコシステムの形成・発展

- ・5つの運営機関が中心となり、九州・沖縄が一体となったPARKSプラットフォームの運営を推進する。
- ・福岡市・北九州市の両スタートアップ・エコシステム拠点都市をモデル都市として、PARKS全体にスキル・ノウハウを展開する。
- ・アジアのVCとも連携を行い、アジア展開も見据えた支援を実施していく。

活動成果

(アントレ人材育成プログラム開発・運営等) 共通の取組みが行えるよう、PURPOSE、VISION、TARGET、PARKSのアントレ教育の定義を定めた。PARKSとして13件のアントレプログラムを実施し、615名の延べ受講者数。全体では、8000人程度の受講者。バブソン大のFDプログラムを実施し33名育成した。(起業環境整備)PARKSをインターユニバーシティ的に運営するためのICTツール(チャット、クラウドフォルダ)の整備、運営用のNDA整備、起業に関する規定の整備状況の調査を行った。(拠点都市のエコシステムの形成・発展)毎週の運営会議、毎月の運営連携会議をもとにPARKSの運営を推進。PARKSシンポジウムを開催し、大学・自治体・省庁・金融機関・VC等から500名程度の参加者があった。海外エコシステムとの連携のため、米国・台湾・香港等を訪問し、調査した。